

広島県災害対策本部員会議（第1回）知事コメント
（令和2年7月14日）

- 県内の土砂災害警戒情報は、先ほど14時25分にすべて解除されましたが、引き続き、県内の広い範囲に大雨警報が発令されているほか、多くの市町で避難指示、避難勧告が継続しています。また、複数の河川で、いまだ氾濫危険水位を超えています。

- 県内では、これまでの雨が蓄積しており、活発な梅雨前線の活動により、今月に入ってから降水量が、多いところで600ミリ程度となっており、すでに昨年7月の平年の降水量の2倍以上となっております。

- 昨夜からの雨により、残念ながら、県内では、東広島市で2名の方が土砂崩れに巻き込まれたとの情報も入っているほか、広島市で重傷者も1名出ております。

- 土砂災害警戒情報は解除されましたが、引き続き警戒が必要な状況です。

- 現在、県内の雨は小康状態となっておりますが、これまでの断続的な雨により地盤が非常に緩んでおり、今後も少しの雨で、土砂災害や浸水害の危険度が高まるため、引き続き警戒をしていただきたいと思います。また、雨が降った場合には避難情報が発令される可能性があります。

- 県民の皆様には、改めて、ハザードマップで、災害の発生の恐れがある場所かどうか確認していただき、特に、土砂災害警戒区域等にお住まいの方など、避難が必要な方は、「分散避難」も勧めていますので、市町が開設する避難所だけでなく、安全な場所にある親戚や知人宅などの安全な避難先を確保していただきたいと思います。